

令和6年度 第2回 曳馬小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年8月7日（木） 午前10時20分から 午前11時30分まで
- 2 開催場所 曳馬小学校 学習室4
- 3 出席委員 飯尾忠弘、川井啓介、中村佐知枝、戸田京子、荒巻太枝子、鈴木香代、
- 4 欠席委員 黒田淳二
- 5 学校 竹内孝夫（校長）、古橋孝文（教頭）、鈴木正委（CS担当職員）
内堀邦子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 内堀邦子（CSディレクター）
- 8 議長選出

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ飯尾会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- ① 「学校経営評価」について （竹内孝夫校長）
- ② 「教育課程」について （鈴木正委主幹教諭）
- ③ 「学校支援の在り方」について（鈴木正委主幹教諭）
- ④ コミュニティ・スクール研修会参加報告（飯尾会長）

司会の古橋教頭から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

10 会議記録

第2回会議録の内容を確認し、議長の選出は各回行うという訂正の他は異議なく承認された。（鈴木正委主幹教諭）

① 「学校経営評価」について

議長の指示により、竹内校長から資料に基づき学校経営評価について説明があった。学校経営評価とは、教職員にアンケートを行い、その結果をまとめたもの。今回教職員の捉え方の違いが表れた結果となった。向かっている方向は同じでも受け止め方や関心度、自身の取り組みによって評価が分かれ、達成度の評価が大きく変わっている。職員間で方向性・目指す学校の姿を共有していく。

- 思いやり・規範意識の項目の評価が低いのは、具体的にはどのようなことか。（戸田委員）
- 廊下を走る、名札をつけていない子がいることで規範意識が低い評価につながっている。曳馬小学校の子どもは人懐っこいと評価され、思いやりについて評価は高い。当たり前にできる事を評価し思いやり・規範意識・自尊感情を育てることは今後の重要課題だ。（竹内校長）
- 思いやり・規範意識・自尊意識を育てることは、学校だけの問題ではない。地域社会との関わり方が変化して、地域社会の行事から学ぶ機会がなくなっている。思いやり・規

範意識・自尊意識、社会性を身につけていく機会を作るには地域からの働きかけも大切。(戸田委員)

- 学校のトイレの数や水圧が足りないことについて、別の学校でも同様の状況が続いていたが、改善された。トイレの設備改善は教育委員会の管轄。改善を進めていただきたい。(飯尾会長)
- 子どもたちの能力向上を目指し、今回のアンケートで低い結果になったところは改善してもらいたい。(川井副会長)
- 問題解決能力、自主的に課題を見つける能力の向上、各教科との関連付けを見つける能力の向上を図っていく教育課題を先生が認識していると感じる。(荒巻委員)
- 学校のトイレは和式だが、昨今の家庭は洋式トイレが通常。和式から洋式トイレに変えていく必要があるのではないか。(川井副会長)
- トイレについては浜松市全体で改善の必要がある。特に体育館のトイレについては、避難所になるということを考えると男女に分けてバリアフリー化の必要があるが、整備が遅れている。(竹内校長)
- 令和 7 年から施設の小規模改修が行われる。防水工事、北校舎の水道関係、体育館の改修工事を行う予定。その中に体育館のバリアフリー化も含まれている。(古橋教頭)
- 学校経営評価については、協議の結果、全員異議なく承認した。(飯尾会長)

②「教育課程」について

議長長の指示により、鈴木正委主幹教諭が資料に基づき 1 学期教育課程の振り返りについて説明。

学校経営評価を基に教職員から出た意見をまとめた。

- 1 学期の振り返りとは、各先生方が出した意見のまとめか。(飯尾会長)
- 各先生方の意見をまとめたもの。例えば水曜日課の時間割が通常日課と異なり、異動してきた職員の多くは余裕がないという意見が出たが、代案がないため現状維持とした。(鈴木正委主幹教諭)
- 教職員の意見を取りまとめ、改善を図っていくということか。(飯尾会長)
- 教職員が部会内で改善策を話し合っていく。
例えば、現在出欠確認をさくら連絡網で行っている。朝の遅刻早退欠席の連絡が徹底されていないのが課題。子どもの所在がはっきりしないと安全を守ることができないため、遅刻早退欠席の連絡を受けた際は、さくら連絡網に必ず時間と連絡内容を追記することを教職員に徹底する。(鈴木正委主幹教諭)
- さくら連絡網の利用は便利で良いが、転換期が落ち着くまで時間がかかる。(飯尾会長)
- 校庭の使用時間の「ルールや決まり」について確認し、児童会も守っていききたい。特に校庭で遊んでいる子が安全に帰宅できる時間に声かけしたい。(鈴木香代委員)
- 曳馬っ子生活の約束を年度初めにクラスに伝え、家庭にも伝えている。校庭で遊ぶ時間は 3～10 月は 17:00 まで、11～2 月は 16:30 まで。教職員も共通認識が必要のため、研修で再度確認し、訂正箇所を 2 学期初めに、子どもに再度連絡していく。

- 「ルールやきまり」はホームページに掲載されていることを保護者に周知させていく。
(鈴木正委主幹教諭)

- 教育課程について協議の結果、全員異議なく承認した。

③コミュニティ・スクール研修会参加の報告（飯尾会長）

- 飯尾会長・古橋教頭が参加。
資料に基づきコミュニティ・スクールについての説明があった。

④学校支援活動について、鈴木正委主幹教諭より CS 協力依頼の説明があった。（別紙参照）

- 各学年の行事に CS のボランティアに協力いただきたい。生活科や総合学習の時間は地域・家庭の協力が必要。協力を得るためにはコミュニティ・スクールの力が必要。
- 学校運営協議会の委員は会議に参加し協議することがあり、情報提供や地域への橋渡し等の協力をしていただければと思う。協働センターなど色々なところと連携しながら支援を進めて行きたい。（竹内校長）
- コーディネーターがいらない現状は主幹教諭に負担が集中する。コーディネーターが配置されるよう努力が必要。（戸田委員）

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和 6 年 9 月 17 日（火）午前 10 時 00 分から多目的ホールで開催する旨の報告があった。また、第 4 回運営協議会は、2 月 7 日(金)14:00～15:30 に変更。その際 5 時間目のよろこびタイムの参観を行う。